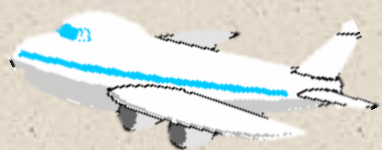


まいど！ざいむ局です！



# 関西元気企業

## ～ 倒産からの奇跡の復活 ～

今回ご紹介する企業は、兵庫県尼崎市にあるゼロ精工株式会社です。高い技術力を武器にフォークリフトから航空機の部品まで、幅広い製品を作っていました。平成16年に倒産。

1度倒産を経験した企業が、奇跡の復活を遂げた秘訣とは。

岡本会長にお話を伺いました。

### ●社長就任のきっかけは。

ゼロ精工の前身の会社は平成16年7月に倒産しました。私は当時、破産管財人の補佐役としてその会社に関わることになりました。

会社の帳簿を見せてもらうと、当社は本業では稼げていたのですが、本社ビルなどの不動産投資により、多額の借金を抱えており、本音のところでは再生は難しいと思っていました。

そんな時、管財人から「岡本さん、会社を立て直してくれないか？」と社長就任を打診されたのです。「これはなかなか難しいぞ。」と思い、何度も断り続けました。

そんなある夜、全社の代表として11名の社員が、私の自宅を訪ねて来て、「うちの会社の社長になって欲しい。」と懇願に来ました。社員たちは、この会社の技術のすばらしさや、この会社で働きたいという想いを私に訴えるのです。

この社員たちの情熱や想いにこみあげるものがあり、社長就任を決意したのです。

### ●一度倒産した会社をどのように再建したのですか。

技術的なことは全くわからないので、なぜこの会社が倒産したのかという理由を探る

### 企業情報

名称 ゼロ精工株式会社  
所在地 兵庫県尼崎市南初島町10番135号  
設立 2004年  
代表者 会長 岡本 仁  
社長 佐藤 雅弘  
従業員 60名 資本金 25百万円  
H P <http://www.zero-seiko.com/>



【 代表取締役会長 岡本 仁氏 】

ことから始めました。まず、全社員1人1人に、「なぜ、この会社は潰れたのか?」と、聞いていきました。すると実に様々な問題点が露見してきたのです。それはノートにして2冊分がびっしり埋まるほどでした。

ヒアリングをしているうちに、会社の問題点が明らかになり、「これらの問題点を解決すれば、きっと良い会社になる。」という想いが湧き上がってきました。

具体的には、3つの策を実施しました。1つ目は取引先の絞り込みです。当社は多くの取引先を抱えており、自社の生産能力、従業員の規模を考えると多過ぎたのです。人間に例えると「食べ過ぎで消化不良を起こしている」といった状態でした。

これらの取引先を手形ではなく、現金取引に応じてくれる先を優先して絞り込みをかけたのです。半年で売上は半減しましたが、無理をしなくなったことから不具合率が1%から0.05%まで低下し、徐々に取引先の信頼も得られ、その後、1社あたりの受注量を伸ばすことに成功したのです。

2つ目は仕入れの1本化です。以前は、各部署がそれぞれに発注を行っていたので、同じ原材料を重複して買ってしまったり、無駄が多かったのです。仕入れ窓口を1本化することで各部署の材料等をまとめて大量に発注できるので、コスト削減につながりました。

3つ目は社員の意識改革です。職員から、業務改善案を1か月に1回は提案してもらい、優秀な提案を表彰するなど、社員のモチベーションを高めています。これまでの提案の中では、業務委託していた社内清掃を、社員自らがローテーションを組んで掃除することにより、毎月数十万円のコスト削減が実現するなどの効果が出ています。

### ●製造業の仕事には経験はあったのですか。

私はこの会社へ来る前は、東京にある会社の財務部長をしていました。製造業の経験はなく、私はあくまで「財務部門」の人間で、技術的なことは全く分からなかったのですが、社員が一つ一つ丁寧に教えてくれました。

なぜ、社員が素人の私に経営を任せたのか。おそらく「技術的なことはおれらに任せておけ」、「財務的なこと、対外的な付き合い等は、自分たちでは不安があるので、やって欲しい。」という想いだらうと理解しています。



【ゼロ精工(株)本社風景】



## ●再生に当たって苦勞したことは。

銀行の信頼を得ることが大変でした。お客様へは製品で信頼を得ることができますが、一度倒産した会社が銀行の信頼を得ることは至難の技です。何があっても絶対に赤字を出さないようにし、それを毎年積み重ねることで信頼を回復するしかありませんでした。

## ●会長は社員の「自主性」を大事にされているそうですね。

当社は社員が自分から自主的にやってくれます。

「残業ゼロ」を目標に掲げた時も、社員は自主性を発揮してくれました。日々の仕事の中で完全に残業をゼロにすることは難しいのですが、できるだけゼロに近づけるために、「金曜日は定時退社日」と社員が自主的に決めてくれました。そのため、金曜日にはできるだけ残業をしないように、営業の社員が現場を手伝ったりと相互応援をするようになりました。



【社員は自主的に働いてくれます】

危機管理についてもそうです。もし、何らかの原因で、会社が回らないようになってはいけないと、「危機管理」の講師を招いて自主的に勉強会を開催し、危機管理のための体制を考えてくれています。

実は、「ゼロ精工」という名前も社員からの応募で決まったものなのです。社員の中から社名を募集し、「ゼロからの出発」だから「ゼロ精工」だと。ロゴのデザインまで自発的にやってくれました。私は「社員への恩返し」のためと思い、自費で社歌を作りCDを作成しました。

## ●若い経営者へ向けてメッセージをお願いします。

とにかく社員を大事にして下さい。私は全て社員のおかげでここまでやってこれました。社員が力を発揮できる場を作ってあげることが、経営者の役割です。

### <取材後記>

昔、31日までのない月の覚え方として、「西向く侍」というのがあった。二（に）、四（し）、六（む）、九（く）、十一（さむらい）月の語呂合わせだ。その時、十一月はどうして「さむらい」と呼ぶのかという疑問が湧いた方も多いと思う。「十一」は武士の「士」になるので「さむらい」と呼ぶそうだ。ある夜、「会社を存続させたいので、社長になって欲しい。」と、岡本さんの玄関先で懇願した代表者11名は、正にお家を守るために闘う「侍」だったのかもしれない。

そして、彼らの熱い気持ちは、岡本さんの心をも動かした。「士（さむらい）」が岡本さんの「心」を動かし、「志」が生まれた瞬間である。